

(社)日本種苗協会 食育推進プロジェクト
カブ栽培の手引き

<< 平成21年度 農林水産省 後援事業 >>

社団法人 日本種苗協会「食育推進プロジェクト」

(社)日本種苗協会について

協会の役割

野菜・花卉・牧草等の優良種子の供給、品種の開発等を促進し、日本の農業ひいては、国民全体の生活水準の向上を図ることで

プロフィール

代表者職名 / 氏名	会長 / 瀧井 傳一 (たきいでんいち)
所在地	東京都文京区本郷2-26-11 種苗会館7F
電話番号	03-3811-2654
FAX	03-3818-6039
理事総数	53名
監事総数	3名
職員総数	5名
会員総数	1,288名



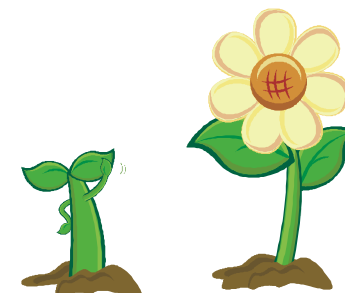
(社)日本種苗協会について

事業：

1. 園芸種苗等の生産及び流通の改善に関する調査研究並びにその成果の普及
2. 優良な園芸種苗等の普及促進
3. 民間品種の助長及び民間育種に関する権利の保護
4. 採種用原種の遺伝資源の維持及び向上
5. 官公立試験研究機関の育成した園芸種苗等の適正な配分への協力
6. 品種命名基準の作成及び品種名称の整理
7. 種苗管理士(シードアドバイザー)制度による技術支援
8. 災害対策用等種子の備蓄
9. 国際種子機構との連携
10. 園芸種苗等に関する会報の刊行等

その他：

1. 全日本野菜品種審査会、全日本花卉品種審査会の開催
2. 育種技術シンポジウムの開催
3. 「種苗法」に基づく育成者権の理解推進への協力
4. ISF(国際種子連盟)等との連携
5. 「種苗界」等種苗関係資料の刊行



カブの栽培時期



- ・9月に播種すると、小カブで50～60日、大カブで70～80日で収穫できます。

カブの育て方 ~畑の準備 その1~

タネまきの2週間前

苦土石灰を散布して
よく耕す

クワで
よく耕す

畑全面にまく

苦土石灰
1m²あたり
100 ~ 150g



カブの育て方 ~畑の準備 その2~

タネまきの1週間前

化成肥料

1㎡あたり

100g

堆肥

1㎡あたり

2kg

畑全面にまく

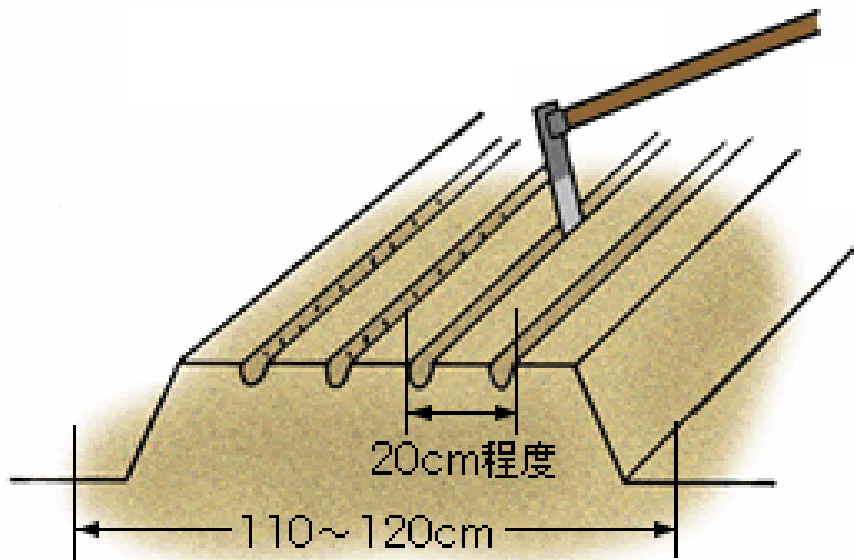
クワで

よく耕す



カブの育て方 ~ タネまき ~

小～中カブの場合



20cmくらいの間をあけて、

深さ1cmくらいの溝をつくる。

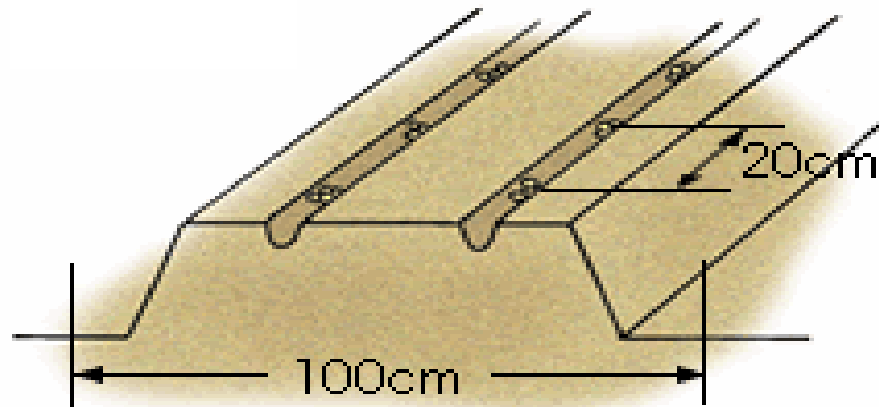
・1cmくらいの間隔ですじ状にタネをまく。

・薄く土をかぶせる。

タネをまく前にはたっぷりと土に水をやってください。

カブの育て方 ~ タネまき ~

大カブの場合

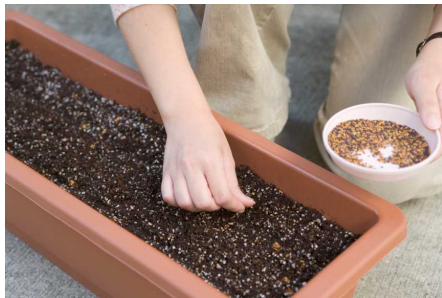


- ・20cmくらいの間をあけて、
深さ1cmくらいの溝をつくる。
- ・20cmくらいの間隔で、
5～6粒のタネをまく。
- ・薄く土をかぶせる。

タネをまく前にはたっぷりと土に水をやってください

カブの育て方 ~『プランター編』~

プランター(650型)でも栽培可能です



約10cmの間かくで、
2すじタネをまく



はり金をプランターに
セットする



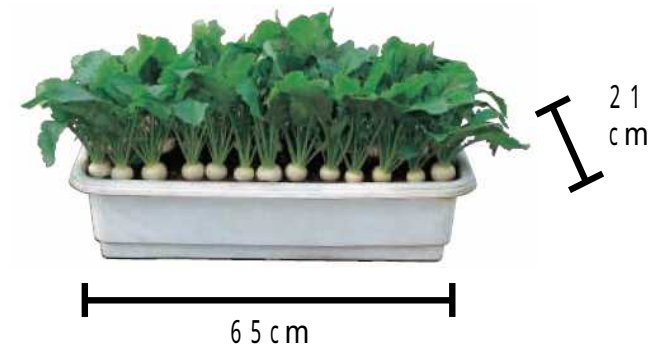
ネットをかぶせる



すき間ができないように、
ネットのすそをひもでしばって、
せんたくばさみでとめる



発芽の様子
(ネットをはずしたところ)



畑で栽培する場合と同じように
間引きを行えば、
このように収穫できます

タネまきの4つのポイント



・適温時期にまく :

農作物にはそれぞれタネまきに最適な温度があります
カブの場合は20～25 が最適です

・適度な水分 :

タネをまく前には土にたっぷり水をやってください
まいた後は土の表面が乾かない程度に毎日水をやりましょう
水分が多すぎると酸素が不足してタネが呼吸できなくなるので注意しよう

・酸素 :

タネも生き物ですから呼吸するために酸素が必要です
酸素が不足するとちっ息して死んでしまいます

・光 :

タネの発芽に光が必要な農作物と、暗い環境が好きな農作物があります
種類によってタネにかぶせる土の厚さを調節しましょう
カブはタネをまいたら1cmくらい土をかぶせよう

カブの育て方 ～虫よけ～

約50cmの間かくで支柱を立てる



防虫ネットなどをかぶせて、
すそに土をかけて密閉する

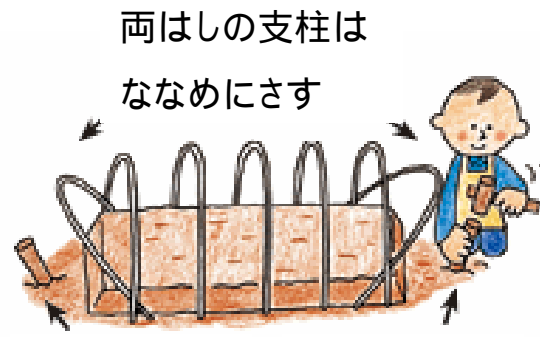
カブの栽培では栽培初期の害虫対策が大きな問題となります。

ネットが使用できない場合は、植物由来の「木酢液(もくさくえき)」や牛乳を
スプレーを使って葉裏等に散布すると多少なりとも虫害を防ぐことができます。

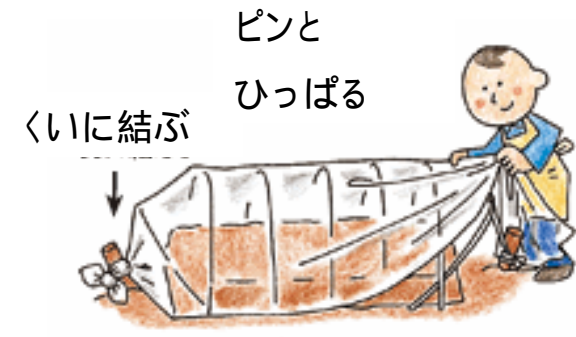
< 防虫ネットの張り方 >



支柱を50cm間隔で
アーチ型にさす



両はしの支柱は
ななめにさす
くいを打つ くいを打つ



ピンと
ひっぱる
くいに結ぶ



別の支柱を
ネットの上からかけて、
風で飛ばないように押さえる



ネットのすそに
土をかぶせて押さえる



<カブの害虫>

個別の防除方法等については、担当会社にご相談ください。



アブラムシ類



ヨトウムシ類



モンシロチョウ
(アオムシ)



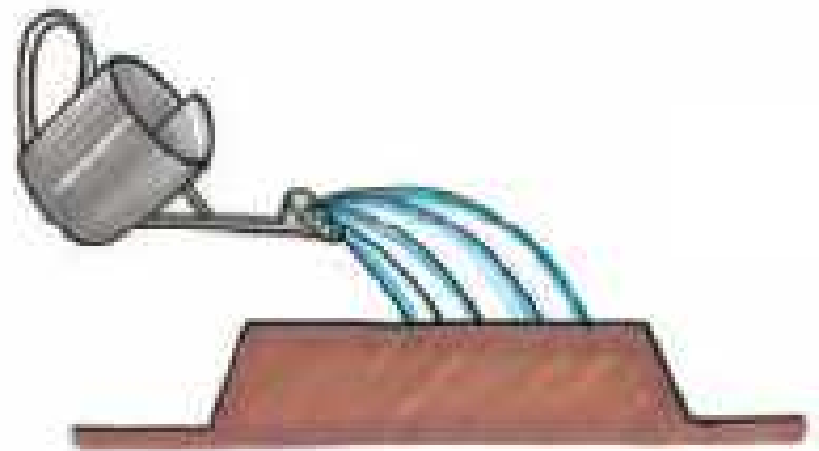
コナガ



キスジノミハムシ

カブの育て方 ～水やり～

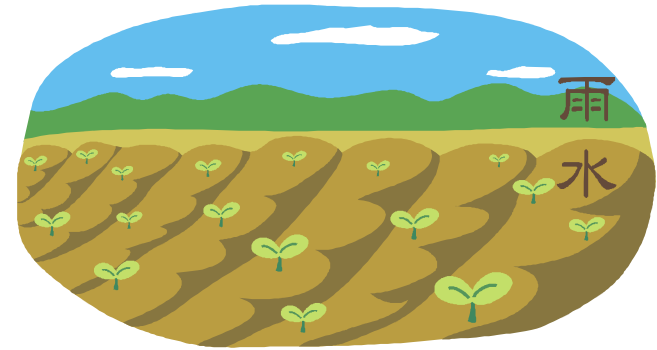
タネをまいてから発芽するまでは、
土の表面が乾くことのないようにこまめに水をやってください
発芽した後は、
定期的に土の中まで十分にいきわたるよう
たっぷりと水をやってください



カブの育て方 ~ 間引き・土よせ・追肥 ~

間引き(まびき)とは？

農作物の栽培の途中で、
葉と葉が重なり合わないよう、
一定の間隔になるよう引くぬくこと
農作物が密集しすぎていると、
日当たりや風通しが悪くなったり、
根を張るスペースが狭くなってしまいます
小さすぎるものや大きすぎるものを引き抜いて、
大きさが同じくらいで元気なものだけ残します



カブの育て方 ~ 間引き・土寄せ・追肥 ~

土寄せとは？

栽培中の農作物の根元に土をよせてかけること
農作物が倒れたり、根が動揺したり、
雑草が生えるのを防ぐ効果があります

追肥(ついひ)とは？

農作物の栽培の途中で、
元肥に加えて肥料(栄養)を足すこと



カブの育て方 ~ 間引き・土寄せ ~

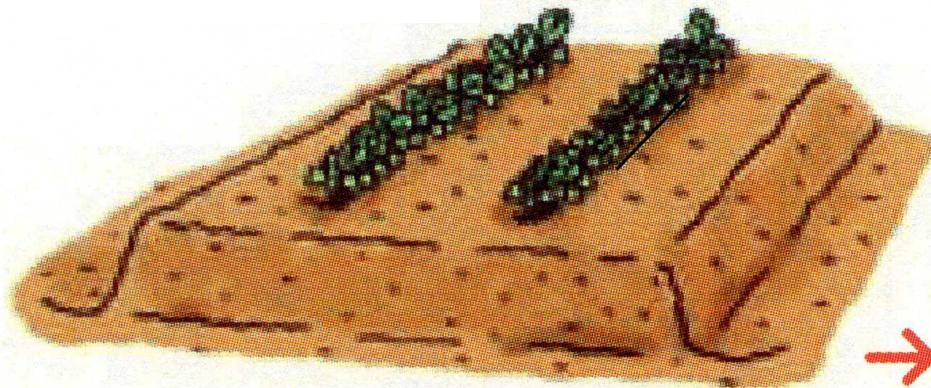
双葉が完全に開くまで1週間くらいです

タネまきから10日から2週間くらい、

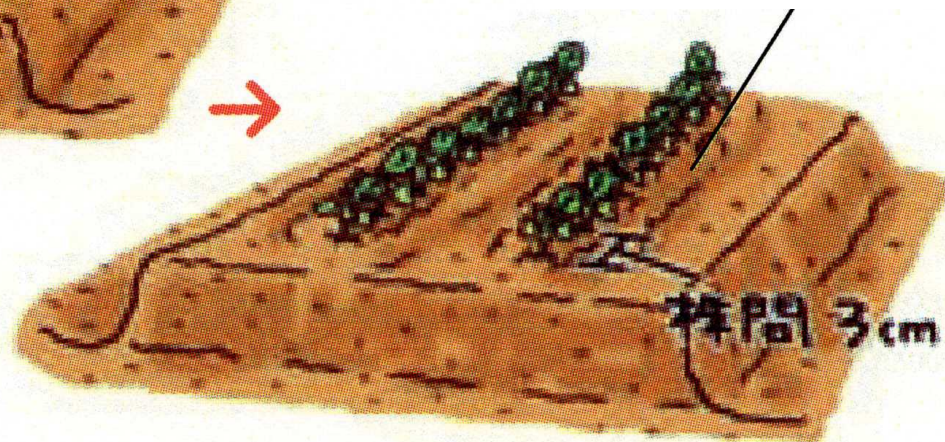
本葉1~2枚の時期に3cm間隔になるよう間引きして土寄せを行います

タネまきから10日~2週間くらいの時期

(本葉1~2枚のころ)



生育が遅れている小さなものを、
残すカブをいためないように丁寧に引き抜き、
間隔が3cmくらいになるようにする



間引きの後、
カブがぐらつかないように
根元に土寄せする

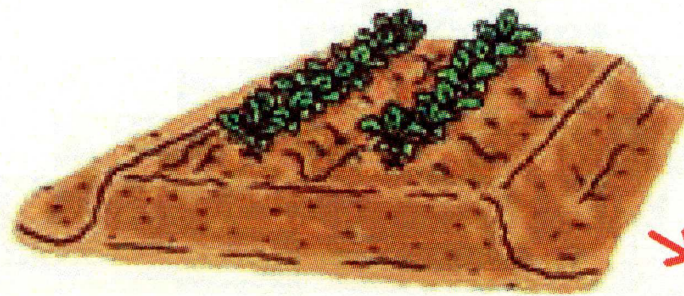
間隔 3cm

カブの育て方 ~ 間引き・追肥・土寄せ ~

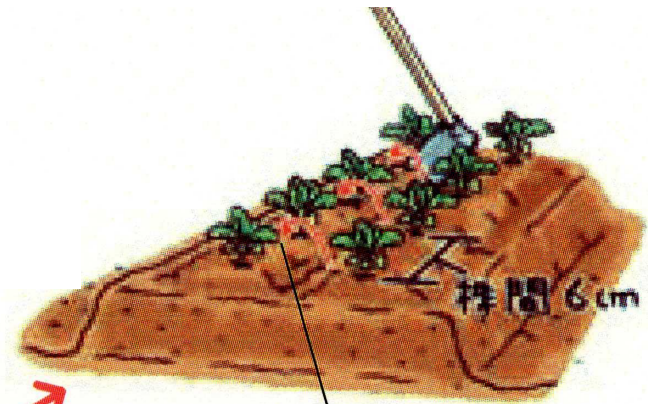
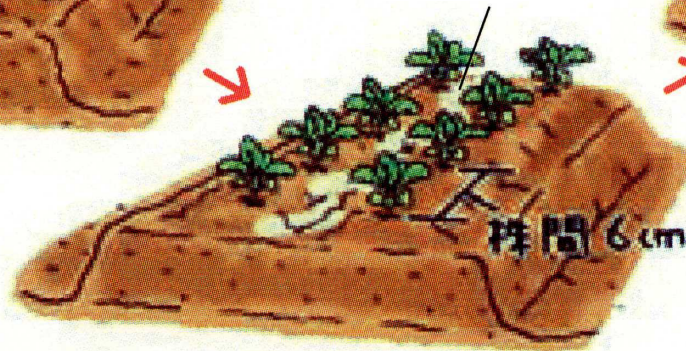
本葉3 ~ 4枚の時期に6 cm間隔になるよう2回目の間引きを行います
土寄せと追肥も一緒に行いましょう

本葉3 ~ 4枚くらいの時期

6 cmくらいの間隔になるよう、
丁寧に引き抜く



カブの間に肥料をやる
(1㎡あたり30gくらい)



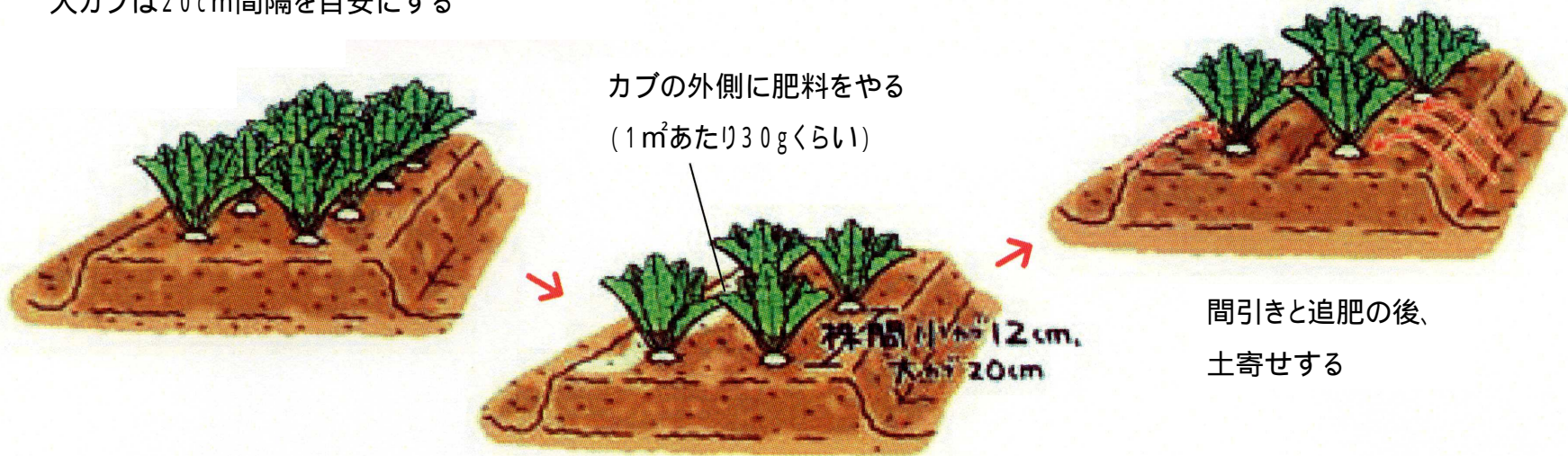
間引きと追肥の後、
カブがぐらつかないように
根元に土寄せする

カブの育て方 ~ 間引き・追肥・土寄せ ~

本葉5～6枚の時期に、小カブの場合は12cm間隔、
大カブの場合は20cm間隔になるよう3回目の間引きを行います

本葉5～6枚くらいの時期

小カブは12cm間隔、
大カブは20cm間隔を目安にする



カブの育て方 ~ 収穫の時期 ~



収穫時期の目安

小カブ:

タネをまいてから50 ~ 60日くらい

根の直径が5cmくらい

大カブ:

タネをまいてから70 ~ 80日くらい

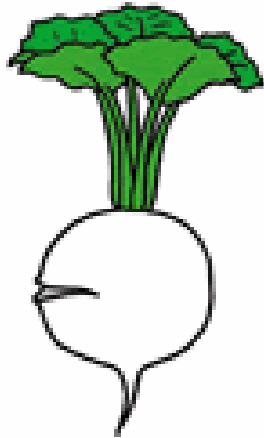
根の直径が12 ~ 15cmくらい



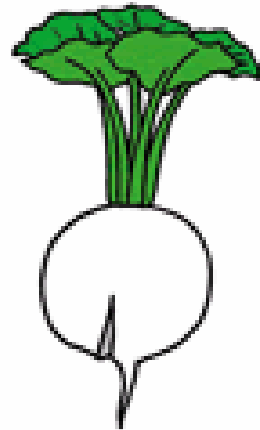
<カブの裂根>

裂根:根が割れること

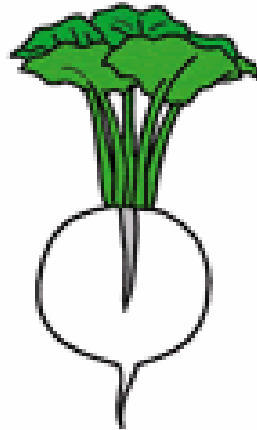
乾燥と加湿がくり返されると割れやすい



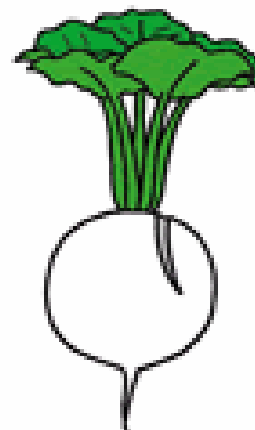
横割れ



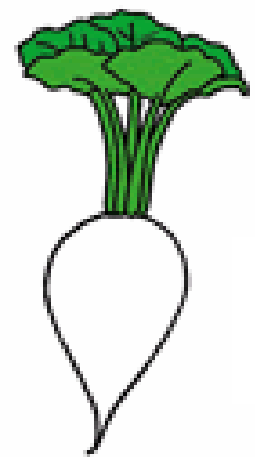
縦割れ



茎割れ



肩割れ



変形

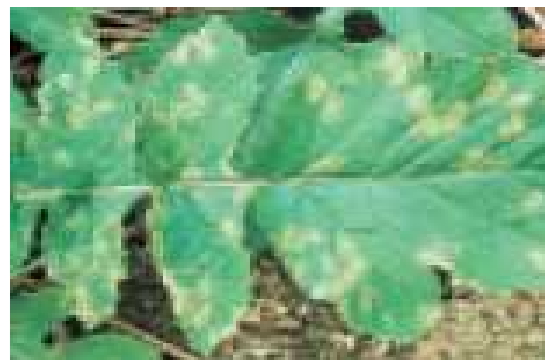
収穫が遅れるとカブの中に空洞ができ、味も悪くなるので注意してください

<カブの病気>

個別の防除方法等については、担当会社にご相談ください。



カブモザイク病

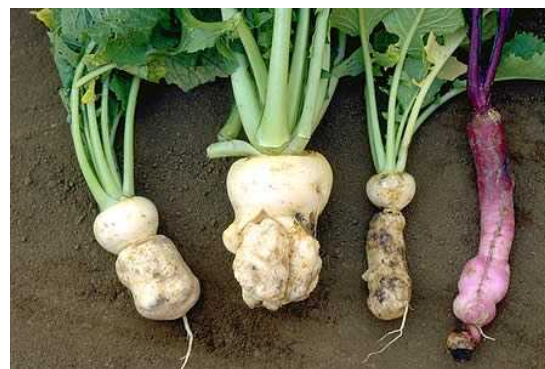


べと病

写真はダイコンの病症



白さび病



根コブ病